

農林水産統計の役割

農林水産統計は、**農政を支える「情報インフラ」**としての役割を担っており、①政策目標の設定と評価根拠、②需給安定対策等の施策の発動基準、③国の財政支出の算定根拠、などに必要な統計データを整備しています。

また、「**公共財**」として、国民が合理的な意思決定を行うための基盤となる様々な数値を提供しています。

公共財としての農林水産統計

日本の食と農林水産業の現状はどうなっているの？



農林水産統計のデータは、だれでも利用できます！
農林水産省や中国四国農政局のホームページを見てみよう！
(報告書・政府統計の総合窓口 (e-stat) など)



← 農林水産省 「統計情報」

中国四国農政局 「統計情報」 →



◆作物統計調査 (令和4年・全国)

水稻
収穫量：727万t
10a当たり収量：536kg
作況指数：100

◆農業経営統計調査 (令和3年・全国)

農業所得 (個人経営体)
1 経営体：115万円
米生産費 (個別経営)
10 a 当たり全算入生産費：128,145円

◆農林業センサス (令和2年・全国)

販売農家：103万戸
個人経営体の
基幹的農業従事者：136万人
(平均年齢:67.8歳)

など

統計は未来を支える

おくりもの



10月18日 統計の日

統計調査へのご回答をお願いいたします。
政府では、オンライン調査を推進しています。



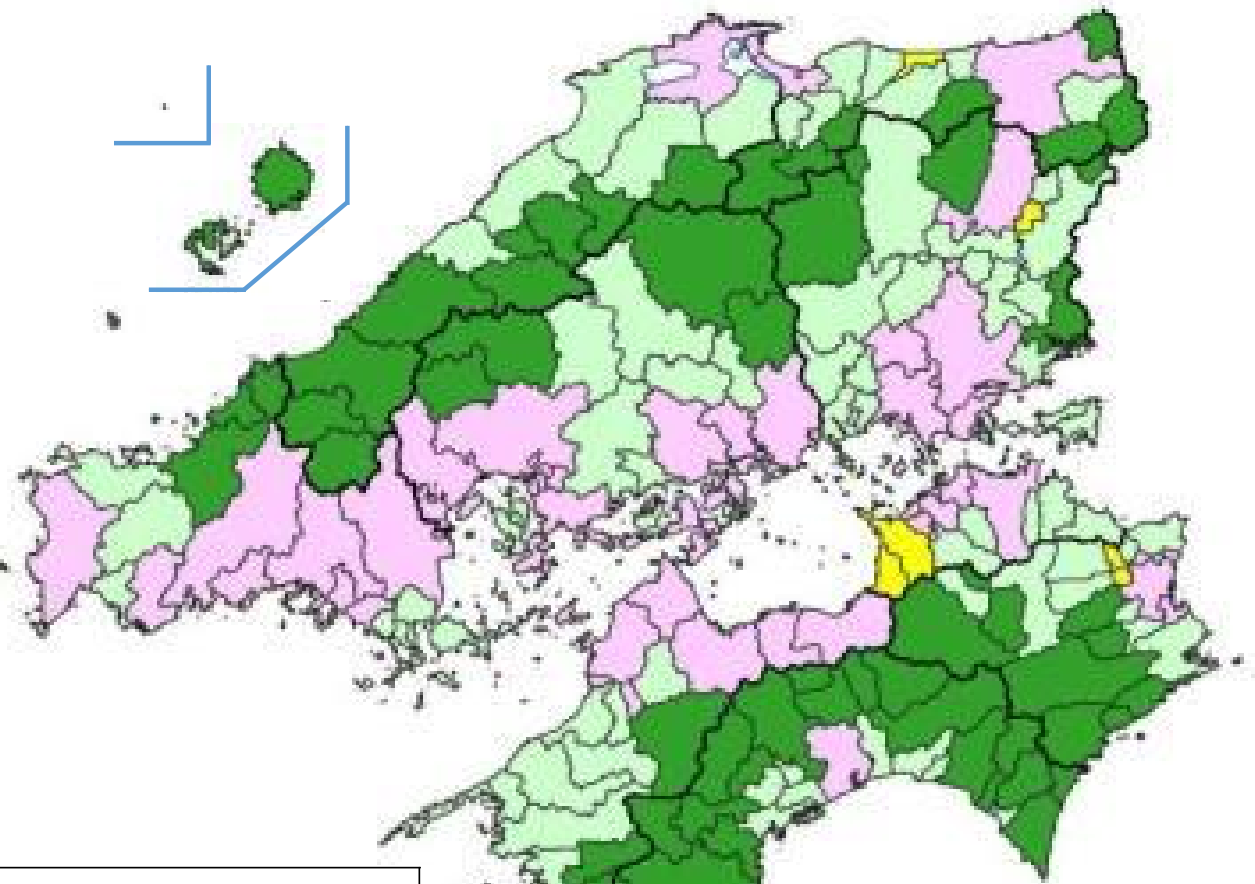
総務省・各府省統計主管部局

「統計の日」は、国民の統計に対する関心と理解が深まり、国や地方自治体などが実施する統計調査へのより一層の協力が得られることを目的として、昭和48年に定められました。

明治 3 年 9 月 24 日 (太陽暦では 10 月 18 日)	わが国最初の近代統計である「府県物産表」に関する太政官布告が公布
4 年	太政官正院に「政表課」が置かれる
18 年	内閣の機関「統計局」となる
昭和 22 年	統計法が制定
48 年	毎年 10 月 18 日を「統計の日」とすることを決定

中国四国の市町村別農業地域類型区分

農林統計では、全国の国土を4つの農業地域類型に区分しており、この区分でみると、中国四国地域は中間・山間農業地域が全経営耕地面積の62.1%となっています。これは、全国平均の42.3%と比べても高い率となっています。



市町村別農業地域類型区分	基準指標
都市的地域	<ul style="list-style-type: none"> ○可住地に占めるD I D面積が5%以上で、人口密度500人/㎢以上又はD I D人口2万人以上の市区町村 ○可住地に占める宅地等率が60%以上で、人口密度500人/㎢以上又はの市区町村。ただし、林野率80%以上のものは除く。
平地農業地域	<ul style="list-style-type: none"> ○耕地率20%以上かつ林野率50%未満の市区町村。ただし、傾斜20分の1以上の田と傾斜8度以上の畑との合計面積の割合が90%以上のものを除く。 ○耕地率20%以上かつ林野率50%以上で、傾斜20分の1以上の田と傾斜8度以上の畑の合計面積の割合が10%未満の市区町村
中間農業地域	<ul style="list-style-type: none"> ○耕地率が20%未満で、「都市的地域」及び「山間農業地域」以外の市区町村 ○耕地率が20%以上で、「都市的地域」及び「平地農業地域」以外の市区町村
山間農業地域	<ul style="list-style-type: none"> ○林野率80%以上かつ耕地率10%未満の市区町村

【市町村別農業地域類型区分の注意事項】

- ・ 農業地域類型区分は、令和5年改定版による。
- ・ 農業地域類型区分の決定順位は、次のとおりです。
都市的地域 → 山間農業地域 → 平地農業地域・中間農業地域
- ・ 都市的地域の基準指標に用いられている「D I D」とは、Densely Inhabited Districtの略で人口集中地区のことです。原則として人口密度が4千人/㎢以上の国勢調査基本単位区等が市区町村内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が5千人以上を有する地区をいいます。
- ・ 平地農業地域の基準指標に用いられている「傾斜」は、1筆ごとの耕作面の傾斜ではなく、ひとまとまりの耕地（団地）としての地形上の主傾斜をいいます。

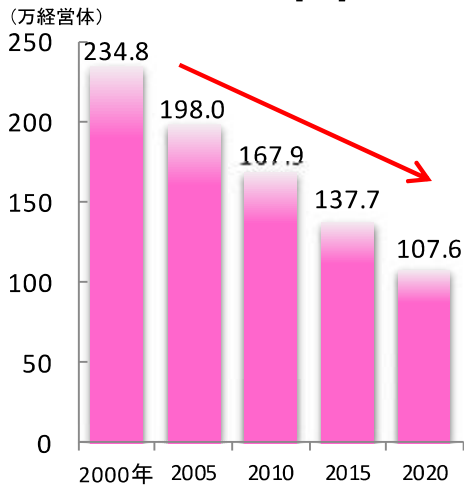
農業経営体数の推移

2000年から2020年の20年間で、農業経営体数は全国、中国、四国ともに5割以上減少しています。

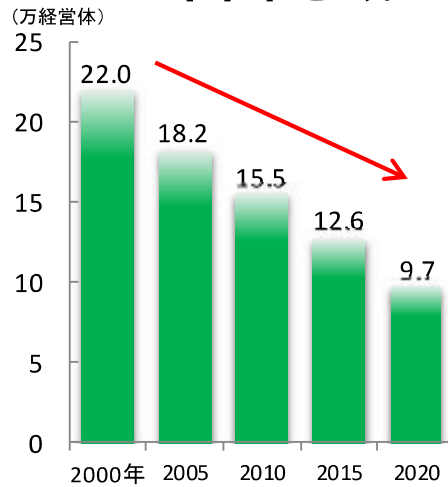
注) 2000年、2005年の農業経営体数は、当時の「販売農家数」、「農業生産等を行う組織経営体」及び「農作業受託のみを行う経営体」を積上げたものです。



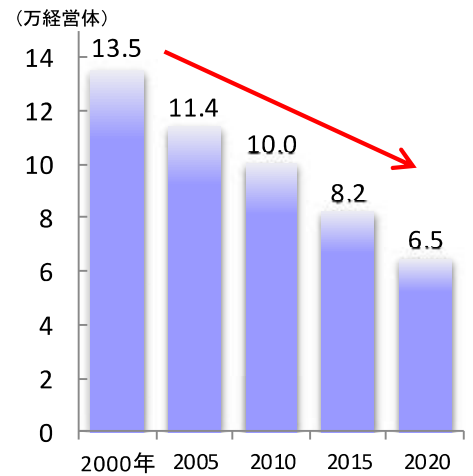
全国



中国地域



四国地域

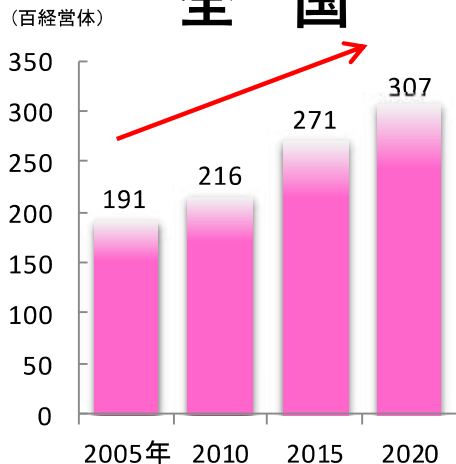


農業経営体のうち法人経営体の推移をみると…

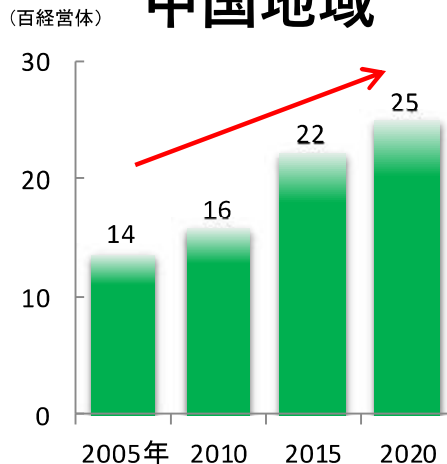
農業経営体数は上図のとおり減少していますが、農事組合法人、会社などの法人経営体数は、この15年間で全国が6割、中国が7割、四国が4割程度増加しています。



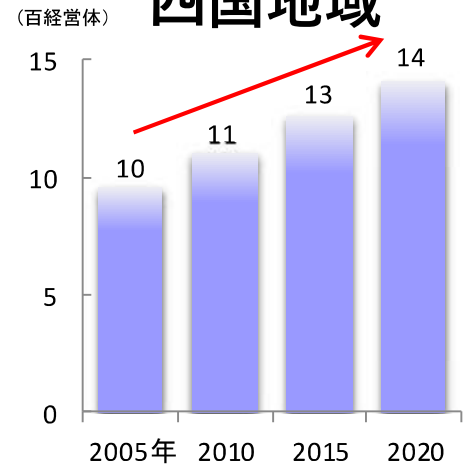
全国



中国地域



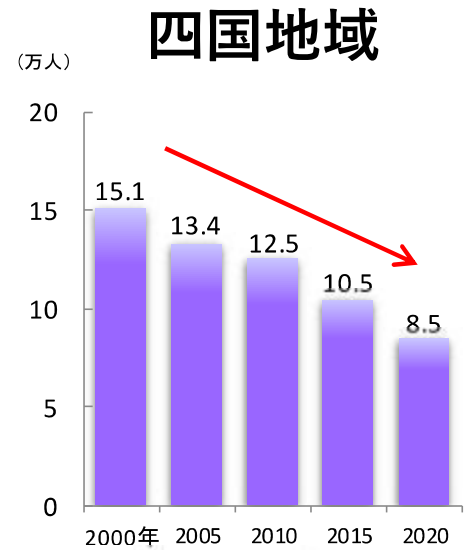
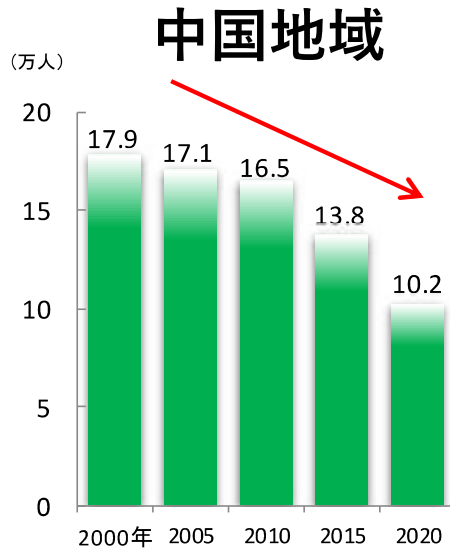
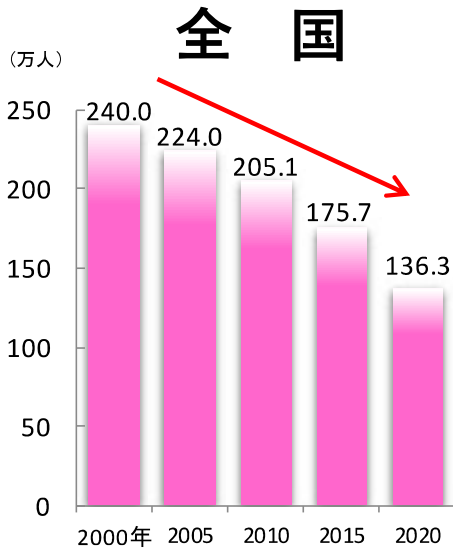
四国地域



農業従事者数の推移

2000年から2020年の20年間で、基幹的農業従事者は全国、中国、四国ともに6割弱まで減少しています。

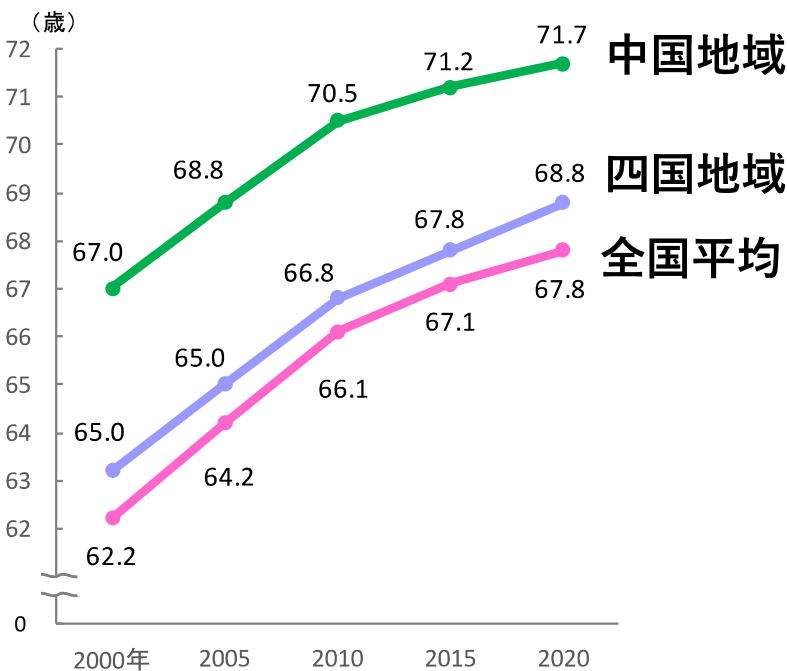
注) 2000~2010年は、当時の「販売農家」、2015年以降は「個人経営体」の基幹的農業従事者です。



基幹的農業従事者の年齢をみると…

高齢化が深刻!

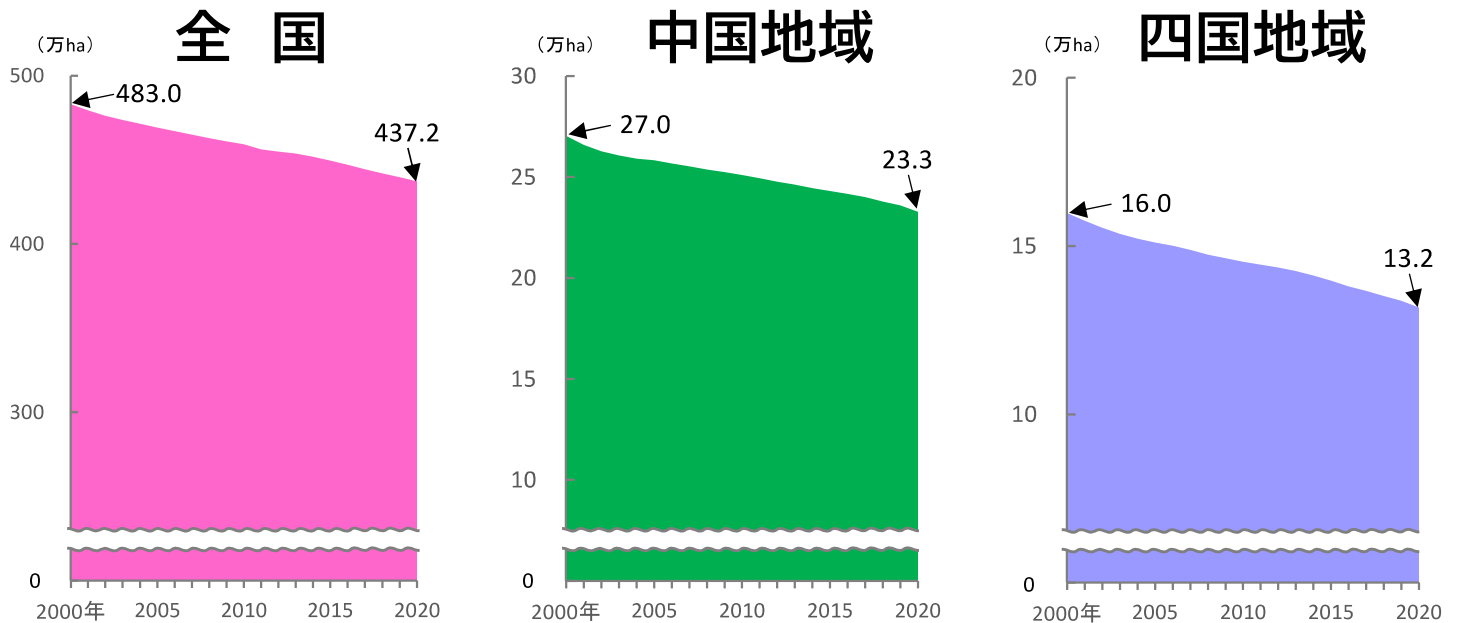
全国的に農業従事者の高齢化が進行しています。中国四国各県の平均年齢をみると、ほとんどの県で全国平均を上回っています。



順位	都道府県	基幹的農業従事者の平均年齢(歳)
1	山口	72.3
2	広島	72.1
3	島根	72.0
4	岡山	71.5
5	福井	71.4
6	富山	71.3
6	香川	71.3
8	三重	71.0
9	岐阜	70.9
9	鳥取	70.9
11	兵庫	70.6
12	石川	70.2
⋮		
19	愛媛	69.3
26	徳島	68.3
39	高知	66.2
全国平均		67.8

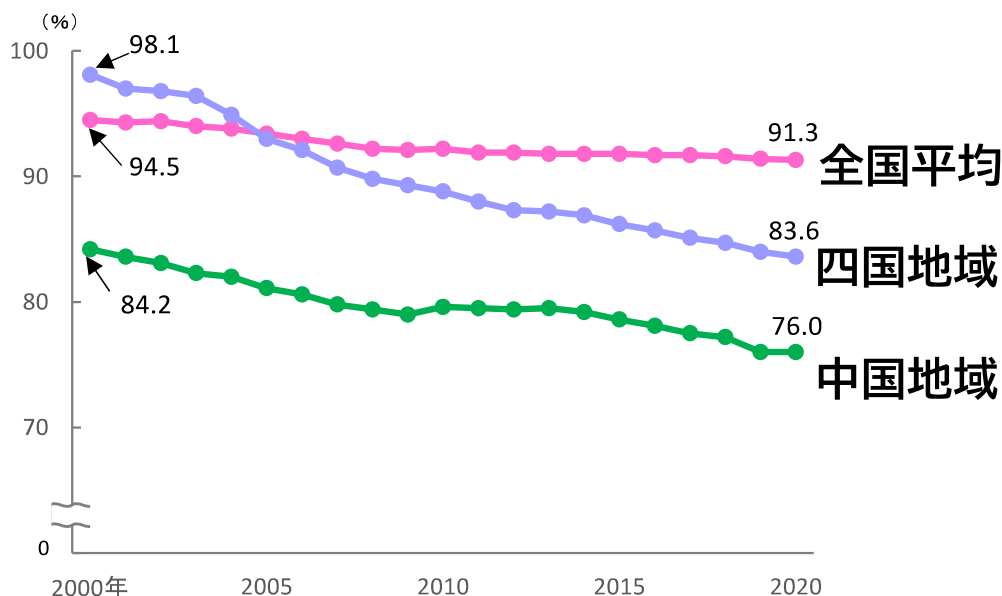
農地(耕地)面積の推移

2000年から2020年の20年間で、耕地面積は年々減少し、全国及び中国地域では1割ほど、四国地域では約2割減少しています。



耕地利用率を見ると…

2000年から2020年の20年間で、耕地利用率は、全国平均で3.2%低下、中国では14.5%低下、四国では8.2%低下しており、2020年では中国、四国ともに全国平均を下回っています。



注) 耕地利用率とは、1年間で同一の農地に作物を何回作付けるかを表す指標です。耕地面積に対する作付延べ面積の割合で計算し、全ての農地が年1回利用されれば100%になります。

中国地域の主な農畜産物

(令和3年)

※ 各県の農業産出額上位10品目を掲載しています。
赤字は全国10位以内の品目です。

米やみかんなど、それぞれの品目ごとに計算した「農業産出額」を表にしています。

《農業産出額とは?》

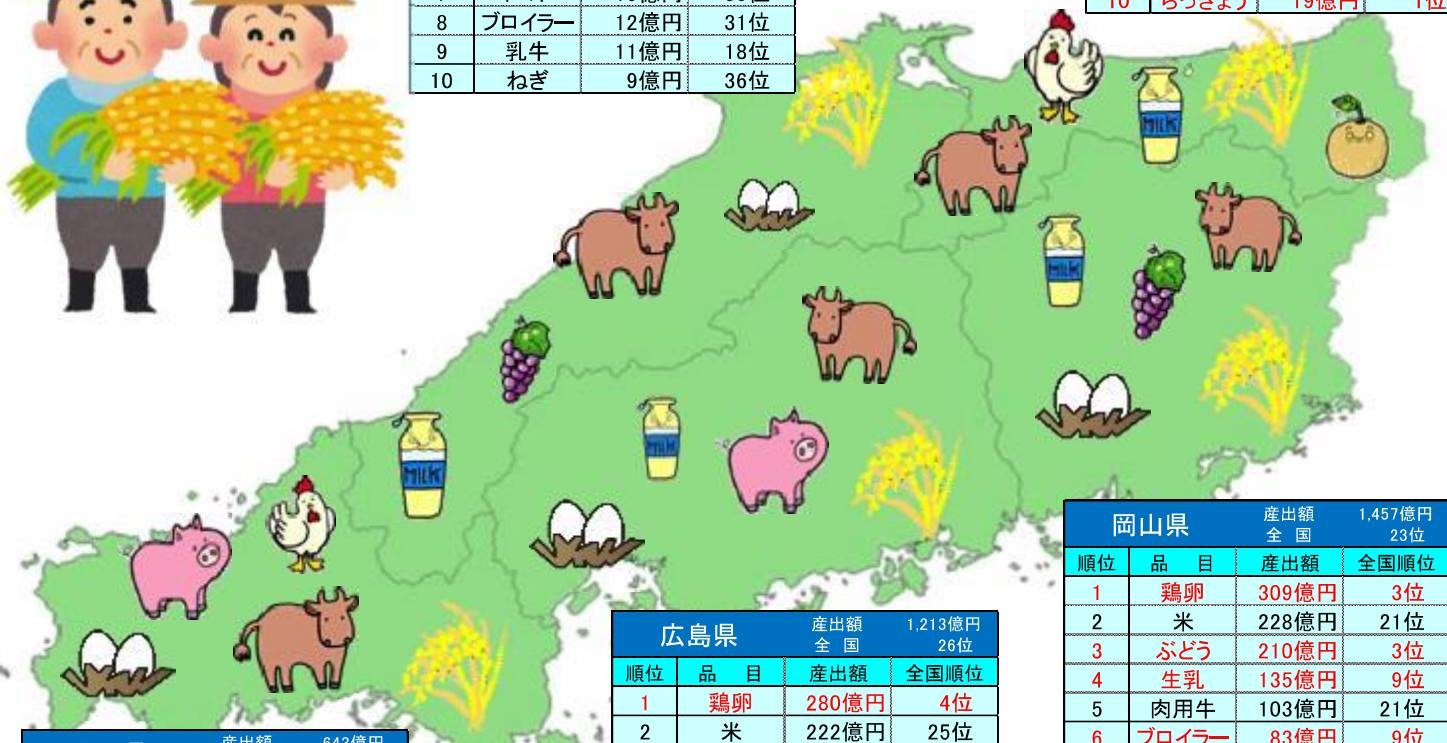
農家の人たちが育てた農産物（お米、野菜、果物など）や畜産物（牛、豚、卵など）の数量に、平均的な販売価格をかけて出した金額です。

（スーパー等で表示されている価格ではありません）



島根県		産出額 全国	611億円 40位
順位	品目	産出額	全国順位
1	米	164億円	30位
2	肉用牛	98億円	22位
3	生乳	90億円	14位
4	鶏卵	30億円	36位
5	ぶどう	29億円	10位
6	豚	26億円	34位
7	トマト	15億円	35位
8	ブロイラー	12億円	31位
9	乳牛	11億円	18位
10	ねぎ	9億円	36位

鳥取県		産出額 全国	727億円 36位
順位	品目	産出額	全国順位
1	米	123億円	35位
2	ブロイラー	90億円	7位
3	生乳	70億円	22位
4	肉用牛	60億円	30位
5	日本なし	51億円	4位
6	豚	45億円	29位
7	ねぎ	40億円	10位
8	すいか	38億円	4位
9	ブロccoli	21億円	8位
10	らっきょう	19億円	1位



山口県		産出額 全国	643億円 39位
順位	品目	産出額	全国順位
1	米	176億円	28位
2	鶏卵	61億円	26位
3	肉用牛	50億円	33位
4	ブロイラー	38億円	18位
5	豚	28億円	33位
6	いちご	23億円	23位
7	ねぎ	18億円	23位
8	みかん	18億円	18位
9	生乳	17億円	41位
10	トマト	14億円	36位

広島県		産出額 全国	1,213億円 26位
順位	品目	産出額	全国順位
1	鶏卵	280億円	4位
2	米	222億円	25位
3	豚	91億円	20位
4	肉用牛	77億円	24位
5	生乳	57億円	25位
6	みかん	44億円	9位
7	トマト	39億円	17位
8	ねぎ	39億円	11位
9	ぶどう	36億円	7位
10	ほうれんそう	20億円	12位

岡山県		産出額 全国	1,457億円 23位
順位	品目	産出額	全国順位
1	鶏卵	309億円	3位
2	米	228億円	21位
3	ぶどう	210億円	3位
4	生乳	135億円	9位
5	肉用牛	103億円	21位
6	ブロイラー	83億円	9位
7	もも	51億円	5位
8	豚	28億円	32位
9	トマト	20億円	29位
10	なす	18億円	11位

四国地域の主な農畜産物

(令和3年)

※ 各県の農業産出額上位10品目を掲載しています。
赤字は全国10位以内の品目です。

米やみかんなど、それぞれの品目ごとに計算した「農業産出額」を表にしています。

《農業産出額とは?》

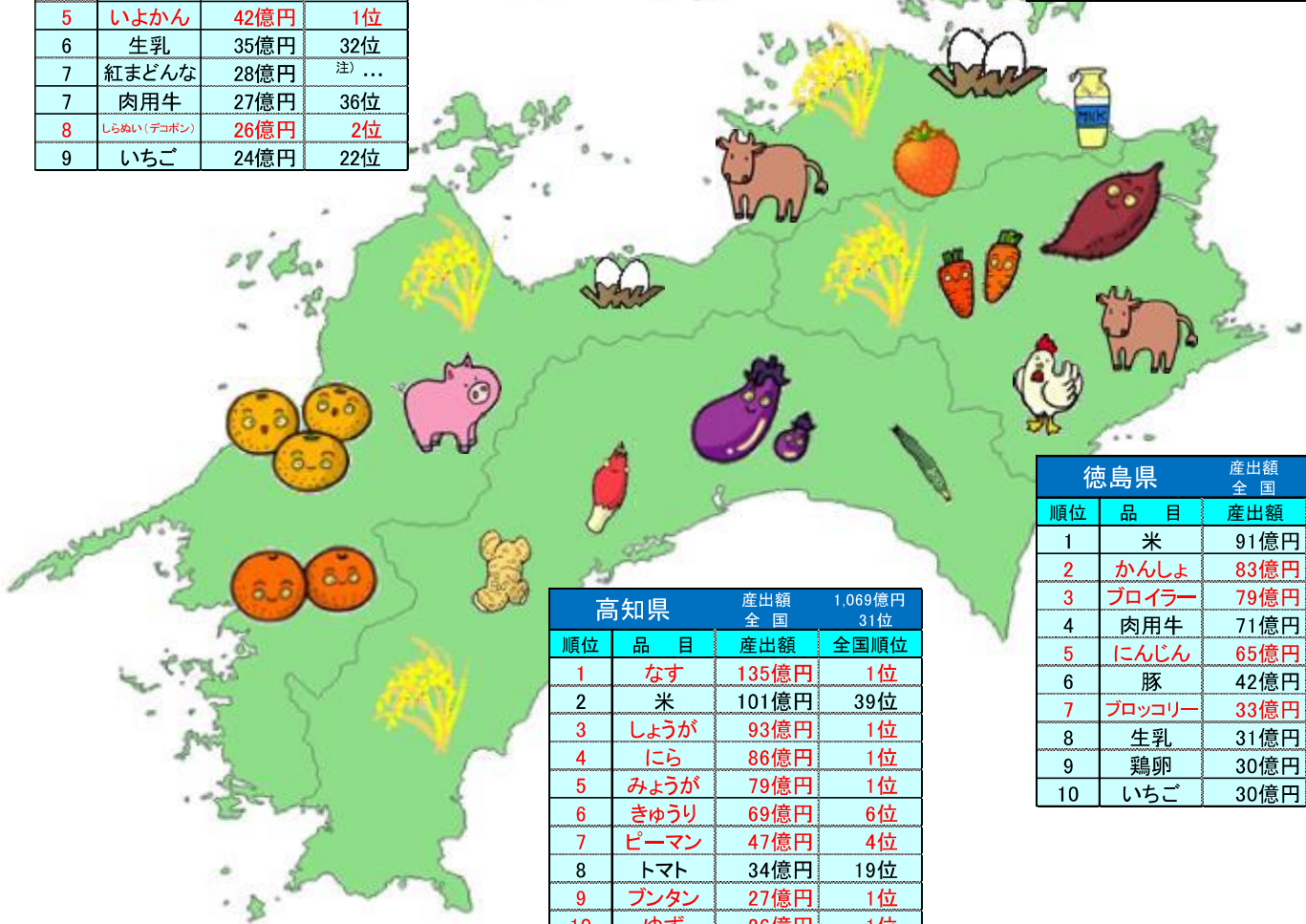
農家の人たちが育てた農産物（お米、野菜、果物など）や畜産物（牛、豚、卵など）の数量に、平均的な販売価格をかけて出した金額です。

（スーパー等で表示されている価格ではありません）



愛媛県		産出額 全国	1244億円 24位
順位	品目	産出額	全国順位
1	みかん	271億円	2位
2	米	138億円	34位
3	豚	133億円	15位
4	鶏卵	55億円	27位
5	いよかん	42億円	1位
6	生乳	35億円	32位
7	紅まどんな	28億円	注) ...
7	肉用牛	27億円	36位
8	しらぬい(デコボン)	26億円	2位
9	いちご	24億円	22位

香川県		産出額 全国	792億円 35位
順位	品目	産出額	全国順位
1	鶏卵	126億円	19位
2	米	102億円	38位
3	ブロイラー	56億円	15位
4	肉用牛	56億円	31位
5	いちご	44億円	11位
6	生乳	44億円	28位
7	ブロッコリー	44億円	2位
8	レタス	27億円	8位
9	ひな(徳島産府県販売)	23億円	6位
10	豚	22億円	35位



高知県		産出額 全国	1,069億円 31位
順位	品目	産出額	全国順位
1	なす	135億円	1位
2	米	101億円	39位
3	しょうが	93億円	1位
4	にら	86億円	1位
5	みょうが	79億円	1位
6	きゅうり	69億円	6位
7	ピーマン	47億円	4位
8	トマト	34億円	19位
9	ブندان	27億円	1位
10	ゆず	26億円	1位

徳島県		産出額 全国	930億円 33位
順位	品目	産出額	全国順位
1	米	91億円	40位
2	かんしょ	83億円	4位
3	ブロイラー	79億円	10位
4	肉用牛	71億円	27位
5	にんじん	65億円	3位
6	豚	42億円	31位
7	ブロッコリー	33億円	5位
8	生乳	31億円	34位
9	鶏卵	30億円	34位
10	いちご	30億円	17位

注)「紅まどんな」は都道府県採用品目であり、全国調査を行っていないため、全国順位は不明(…)としています。